

循環器・腎臓・代謝内分泌内科

1. 診療科の概要

当科では、冠動脈疾患や弁膜症に対するカテーテルインターベンション、不整脈に対するカテーテルアブレーションや心不全に対するデバイス治療、肺高血圧症に対する薬物・非薬物療法などの循環器疾患治療に加え、腎生検や血液浄化療法など腎疾患治療、持続グルコースモニタリング（CGM）やフラッシュグルコースモニタリング（FGM）を用いた質の高い糖尿病治療など、幅広い内科分野で最新の検査・治療を行っている。また、教室の疫学研究で得られた成績をもとに、予防医学に力を入れている。

2. 臨床研修指導医

指導責任者：古橋 真人

指導医：橋本 暁佳、丹野 雅也、矢野 俊之、國分 宣明、村中 敦子、神津 英至、佐藤 達也

望月 敦史、山下 智久、小山 雅之、永野 伸卓、藤戸 健史、村上 直人、大和田 渉
後町 結、中田 圭、西川 諒、神山 直之

3. 研修担当者

氏名：西川 諒

連絡先：r-nishi@sapmed.ac.jp

4. 研修初日の集合時刻と集合場所

研修開始前日までに上記研修担当者へ e-mail で確認すること（事前に所属チームの希望調査あり）

5. 到達目標

- ・ 外来または病棟において、下記の症候を呈する患者について、病歴、身体所見、簡単な検査所見に基づく臨床推論と、病態を考慮した初期対応ができる。

<ショック、体重減少・るい瘦、めまい、意識障害・失神、胸痛、心停止、呼吸困難>

- ・ 外来または病棟において、下記の疾病・病態を有する患者の診療にあたることができる。

<急性冠症候群、心不全、弁膜症、不整脈、大動脈瘤、腎不全、高血圧、糖尿病、脂質異常症>

6. 研修内容

各種検査法、内科の主要疾患、病態について研修する。研修医 1 人に指導医 1 人を原則とした徹底したチュートリアル制度を基本とする。さらに、複数の指導医・研究生・研修医で形成された診療ユニットに所属して情報を共有する。

(1) 回診とカンファレンス

- ・ 教授回診および入退院カンファレンスを週 1 回（火曜日）行う。
- ・ 疾患別の各専門診療班が主催するカンファレンスを行う。
- ・ 研修目標到達について確認・調整するための研修医・指導医合同ミーティングを週 1 回行う。

(2) 研究会

- ・ 週 1 回の一流医学雑誌の抄読会、もしくは講師を招聘しての教室セミナーを行う。

7. 研修医の主な業務

- ・ 病棟の各臨床チームに所属し、指導医と共に同時に1～3名程度の入院患者を担当する。
- ・ 治療方針の決定、各種検査、薬物療法やカテーテル治療の介助を行う。
- ・ 各種カンファレンスへ参加し、医療プレゼンテーションの手法について学び、担当症例について内科学会や循環器学会の地方会での発表を目標とする。

8. 研修スケジュール

	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
月	A	病棟、カテーテル検査*				病棟、心エコー検査*			チームカンファ			
	B	病棟				病棟						
	C	病棟、血液透析*				病棟	新患カンファ	病棟				
火	A	総回診	病棟		心リハカンファ	病棟			教室セミナー*	カテカンファ*		
	B		病棟			病棟				チームカンファ*		
	C		透析カンファ			病棟		外来カンファ				
水	A	病棟、カテーテル検査*				病棟						
	B	病棟				アブレーション・デバイス手術*						
	C	病棟、血液透析*				病棟						
木	A	病棟、カテーテル治療*				病棟、心エコー検査*			チームカンファ		ハートチームカンファ*	
	B	アブレーション・デバイス手術*				アブレーション・デバイス手術*						
	C	病棟、血液透析*				病棟						
金	A	病棟、核医学検査*				弁膜症カテーテル治療*						
	B	アブレーション・デバイス手術*				アブレーション・デバイス手術*						
	C	病棟、血液透析*				病棟						

*自由参加

A：心疾患チーム、B：不整脈チーム、C：腎・糖尿病代謝チーム

9. 初期臨床研修時の症例を活用できる専門医機構基本領域専門医資格

- ・ 内科専門医

10. 研修協力施設

- ・ たすきがけ研修病院（協力型臨床研修病院）
JR 札幌病院、天使病院、JCHO 札幌北辰病院、小樽市立病院、製鉄記念室蘭病院、王子総合病院、函館五稜郭病院、北海道立江差病院、旭川赤十字病院、帯広厚生病院、釧路孝仁会記念病院
- ・ 短期研修可能な施設（臨床研修協力施設）
札幌南一条病院